

【講演要旨】ジェンダー・セクシュアリティ講座(2022年11月5日実施)

同性カップルと一緒に考える LGBTQ+

～アライにできること～

「一緒に暮らして27年目のよもやま話」

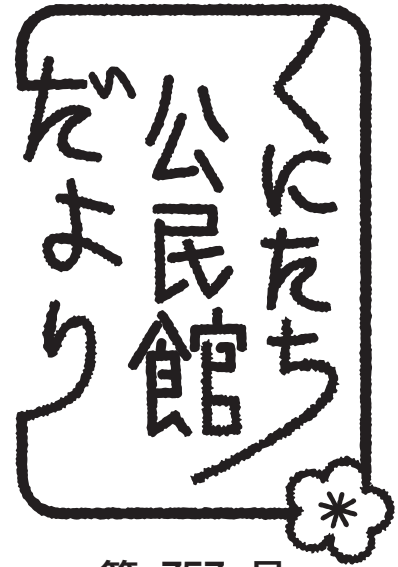
講師 大江 千束^{ちづか}・小川 葉子^{はつこ} (セクシュアル・マイノリティ女性のためのスペースLOUD)



公民館では、今年度11月にLGBTQ+について考える講座を実施しました。27年間一緒に暮らし、パートナーシップ制度を利用したお二人の対談形式のお話を要旨にまとめました。LGBTQ+や、アライ(※)にできることを考える機会になればと思います。

※アライとは、LGBTQ+当事者たちを理解し支援する人や考え方を表す言葉です。

【大江千束さん(写真左)・小川葉子さん(写真右)のプロフィール】大江さんはセクシュアル・マイノリティ女性のためのスペースLOUD代表、小川さんは同副代表。2019年には「結婚の自由を全ての人に」の原告となる。2018年、「中野パートナーシップ制度」の第一号カップルとなった。



第 757 号

2023年 3月 5日

(令和 5年)

「くにたち公民館だより」
ホームページのQRコード▶



発行

国立市公民館

〒186-0004

国立市中1-15-1

TEL 042-572-5141

FAX 042-573-0480

休館日：毎週月曜日

セクシュアリティとは？

【大江】セクシュアリティというのは、性の在り方を表す言葉として4つに分類できます。

1つ目が、生物学的性。男性か女性かということの振り分けになり、2つ目が、性自認。ジェンダー・アイデンティティとも言いますが、自分が男だと思っているか女だと思っているか、どちらでもないと思っているか、というものです。3つ目が、性的指向、セクシュアル・オリエンテーション。

自分以外のどんな他者と親密な関係になりたいのか。同性がいいのか、異性がいいのか、どちらでもいいのか。4つ目が、性表現です。【小川】性表現とは、例えば、生物学的には女性で生まれても、男性の服、あるいはユニセックスの服を着たいとか、戸籍上男性で生まれても、女性のような服を着たいとか、自身がどういうふうに生きていきたいのかという表現につながる言葉として捉えています。

【大江】一人称についても、「僕」、「私」だけでなく、それがしつくりこなくて「自分」と言ったり、「うち」と言ったり、そうした表現にも関わってきます。

その他に「SOGI」という言葉があります。セクシュアル・オリエンテーション(性自認)、ジェンダー・アイデンティティ(性的指向)の頭文字を取っています。例えば私に対して、「大江さんって彼氏いるの」とか、「結婚しないの」とか、そういったことをしつこく言っているとソジハラコメントに当たります。その他に、LGBTだけでなくくれないこともありま

す。LGBTは、レズビアン(L)、ゲイ(G)、バイセクシュアル(B)、トランスジェンダー(T)というくくりですが、それ以外にも、例えばアセクシュアル。性的対象が

ないということです。次にクエスチョニング(Q)。性別や性的指向が分からない、決めたくない。次にXジェンダー、ノンバイナリー。男女のどちらでもない。ジェンダーの規範があてはまらず、どちらでもあるという人。それから、インターセックス(性分化疾患)。性別に関連する体の器官が未分化な状態であることを言うのですが、これをLGBTQ+の中に入れるかどうかは論争があります。適切な治療によって自分の望む性別にフィットした場合、「LGBTのくくりはやめてください」と言う人たちもいますし、逆に「LGBTのくくりをお願いします」という人たちもいるからです。

セクシュアル・マイノリティ女性のためのスペースLOUDについて

【小川】さて、LOUDは中野で、1995年6月に3名のレズビアンによって設立され、1〜2年後に私たちがその後、何となく引き継いだような形になりました。

LOUDは本当に自由に使えるスペースでした。喫茶店でみんなで集まって、同性愛とかレズビアという言葉を発したとき、周りの方から奇異な目で見られたことがありまして。そういったとき、

気心知れた人が気持ちよく集まったり、お話しできたらいいねっていうところから始まりました。

【大江】創設からL.O.U.Dに訪れた人数は、延べ人数にして十数万人になりました。ただ、残念ながら、コロナ禍などいろいろあり、スペース自体は去年の5月に閉鎖しています。また復活させたいなという気持ちはもちろんあります。

同性パートナーシップ制度

【大江】同性パートナーシップ制度がどのような変遷を経て今に至っているのかについてお話ししたいと思います。「同性パートナーの法的保障を考える全国リレーシンポジウム Rainbow Talk 2006」というものが開催されたんですね。大阪府議時代の尾辻かな子さんが呼びかけ人となり4都市で述べ700人が参加しました。

2006年3月5日に開催された第1回東京大会は、私も参加しました。が、何と前日に、同性パートナーシップ制度反対集会在、レズビアンが中心となって開催されたんですね。現行の婚姻制度にジェンダーの平等はあるのかというところが反対や批判の理由でした。長い間、婚姻可能年齢の違いや、

名字の問題、それから、女性だけ再婚禁止期間があること。そして、家庭の中に男女の平等は存在しているのか、また、シングル単位での平等な権利こそが理想であり、何故いつも対幻想なのかという批判もありました。

【小川】世の中には異性愛者のご夫婦もいらっしゃるわけで、そのことを否定しようという気は全くありません。極端な考え方があったのは、すごく残念に思っています。同性婚に関しては、対立するためではなくて、私たちが婚姻制度を選べたらいいなということから始まったものだからです。

【大江】2015年、性的マイノリティに関する課題を考える超党派の議員連盟が発足しました。それから、渋谷区と世田谷区が同性パートナーシップ制度を導入しました。

2016年には、自民党が性的少数者の特命委員会を設置しました。セクシュアルマイノリティ当事者が社会で直面する困難に取り組むべきという一定の機運が、ようやく見られるようになりました。

私たちは中野区民なので、中野区にもパートナーシップ制度をとるということで、当事者の方や、大学の先生、弁護士、区議などをお招きして3回勉強会をやってみました。

た。2018年によりやく中野にパートナーシップ制度ができます。基準日となった2018年9月6日、私たちは第一号として区長から宣誓書ももらいました。

同性婚の人権救済の申し立て

【大江】2015年の7月7日、日本で同性婚の法制化がされないのは人権侵害であるとして、日弁連へ同性婚の人権救済の申立てをしました。当時5名の当事者が、申立人となりました。憲法学者の木村草太さんが「大江さんと小川さん」がもし同性婚裁判の原告になるんだしたら、自分が意見書を書く」と言ってくれました。様々な対応を経て、2019年7月18日、4年後ようやく意見書が出たんです。

【小川】日弁連は、「同性婚を認めないことは憲法13条、憲法10条に反する重大な人権侵害であると評価せざるを得ないこと、及び憲法24条は、同性婚を法律で認めることを禁止する趣旨とは考えられないことに照らせば、我が国は速やかに同性婚を認め、これに関する法令の改正をすべき」と結論づけています。

【大江】この意見書は、法務大臣、内閣総理大臣、衆議院、参議院の議長に届けられたことです。世界では、オランダ(2001年から)、ベルギー、スペイン、カナダなど30ヶ国以上で同性婚ができます。それから、同性パートナーシップ制度を持つ国や地域も、イスラエル、イタリアなど20ヶ国以上あります。同性婚ができる前に、同性パートナーシップを先につくっている国もあるんですね。

【小川】海外では男女として結婚していることを宗教的に重んじている国々であると思うんです。そういう国々でさえも、パートナーシップ制度ができてきたことを考えると、日本が遅れているのではないかと感じざるを得ません。

【大江】2008年以来、国連などから、度々、同性カップルの法的保障とか性的指向・性自認の差別撤廃に関しては、日本は勧告を受け続けているんです。また、日本学術会議は2017年に、「婚姻の性中立化は必須」という提言を出しています。

そんな中、私たちは、2017年1月17日、婚姻届を中野区に出しました。「大変申し訳ないんですけど、受理することは難しいです」と言われ、不受理の理由として、以前は憲法24条に反するということでしたが、憲法24条が同性

婚を反対しているわけではないという理解に変わってからは、不適法、法律にないため、受理できませんというように変わっていると丁寧に説明してくれました。不受理の事実を経て、2019年2月14日、この日に「結婚の自由を全ての人に」裁判を起こしました。

セクシュアルマイノリティを取り巻く社会的背景

【大江】私たちは、当事者から相談を受けることを仕事としていて、必ずしも、そこにどんな特徴があるのか、ご紹介しませんが、

【小川】当事者が生きていく中で、第一に、困難が見えにくいことが多い。第二に、困難が性別規範と密接である。第三に、地縁や血縁など周囲の人に頼れないことがあげられます。

【大江】続いて、セクシュアルマイノリティを取り巻く社会的背景について、です。

【小川】①可視化されていない、見えない存在になっている。②言語化がされにくい性。③逸脱から抑圧、排除が生み出される規範意識。④地方自治体と国の温度差がある。⑤近年メディアでの露出も増えてきたが、偏りがある。⑥当事者コミュニティが重要な役割を

担っている。

【大江】①は、無理もないかなと思えます。例えば、私たちが街中を歩いていて、「あの2人レズビアンよ」というのは分かりませんかよ。

【小川】言っていないか誰とも気づいてくれないので、活動を始めたという経緯はありますよ。

【大江】②は、やっぱり性にまつわることでいうのは、なかなか口に出せませんよ。③は、この規範意識ですが、少し前までは辞書には同性愛の欄に、性的倒錯だとか、異常性欲とか書かれていたのです。

【小川】今の辞書にこのような表現はないので、現在の若者が目にすることはなくなり、本当にほっとしています。10代のときにとってもショックを受けたんです。絶対に隠さなければならぬと思いましたが。

【大江】④に関しては、自治体はほとんどパートナーシップ制度ができています。2022年11月1日からは東京都でも始まりました。それに対して国は基本法すらない状況です。⑤は、近年当事者たちの姿が出るようになってきたけれども、同性愛者に対する反対意見も増えています。⑥は、当事者コミュニティが社会資源として困っ

ている人の受け皿になっています。【小川】安心して当事者が過ごせる場所は、多ければ多いほうがいいと思っています。でも、なかなか広がらないのです。

セクシュアルマイノリティの相談から見えるリスクとは

【大江】第一に、社会に容認されていないため、自己否定感、孤立感が強い。

【小川】同性が好きかもしれないというのは、絶対許されなれないと思っている若者もいて。そうすると、自分のことをすぐ否定する。隠していけないといけなさと、孤立感も増して、とてもつらくなって、相談窓口に必死の思いで来るんです。

【大江】第二に、当事者への差別、偏見、いじめが原因で、職場、近隣、学校での生活が困難になる。

【小川】カミングアウトしたいけど、どうしたらいいですかというご相談もよく受けます。自分のことを分かってもらいたいのって思いが強いあまり、いろんな背景を考えずにカミングアウトしてしまい、軋轢が生じたり、逆に排除が強くなってしまうことがあります。

【大江】第三に、様々な社会的排除によって行き場をなくし、自殺

率が高くなる。ゲイ男性は異性愛者の男性に比べて、約6倍の自殺率という数字が出ています。第四に、当事者であることを支援者に打ち明けられず、必要な支援から遠のくことがある。これは支援側もきちんと受入体制が整っていないと、驚いてしまったり、余計なアウティングにつながってしまいます。社会資源につながりにくい理由のひとつです。

次に、言葉や発言に注意するということですが。ホモ、レズ、おこま、おなべ、オネエ、両刀使いという言葉は、蔑称として使われてきました。悪気はなくても傷つく当事者がいることを意識しましょう。それから、いきなりトランスジェンダーの方に対して、「手術してるの?」と聞くこと、同性愛者に対して「私のこと、そんな目で見ないでね」などと言うことは、ハラスメントに当たる場合があります。

アライにできること

【大江】アライとは、英語で同盟

とか支援を意味する、LGBTQ+当事者ではない人たちが、理解し支援するという考え方で、あるいはそういった立場を明確にしている人々を表す言葉です。アライに

なるためには、性の多様性について、まず知ること。その気づきから、差別的な言葉を使わないようにしたりして、意識を変えていくこと。それで、自分は「アライですよ」ということを表明する。この3つのステップが大事なんじゃないかなと思います。

【小川】例えば公共の施設にアライのシールとか、バッジとか、ちよつとした旗などがあると、気持ち少し楽になることが、当事者は多いようです。歩いていて、レインボーグッズを持っている人を見かけると、少し気持ちいいだ、なんていうことをよく聞きます。

【大江】私たち、パートナーシップの証書ももらったときの写真が区報に載ったんです。それを、私たちが関わっている保護猫活動で知り合った方たちが見てくれて。

【小川】私、別にセクシュアリティのことを言っていないかったのですが、それを見て、「おめでどう。今後もよろしくね」って言われたり、近くの施設の所長さんに、「私はそのような分岐からなかったけど、大事なことから応援するから」と言っていたいたり、すごくうれしかったです。

【大江】地域の中で受け入れられていくということは、私たちに

ってありがたいことで、住みやすさにもつながって重要なことだと実感した次第です。

【大江】私たちが原告として起こした同性婚裁判は、いよいよ11月30日に、東京地裁で判決が出ます(※)。やはり違憲判決を求めていますし、立法がないことでの人たちが困っているから、早く立法するよう

【小川】私たちがこの裁判を起すに当たっていろんな不利益があつて、例えば職場でも、結構風当たりが強かった。降格処分を受けたりとか、理不尽なこともありましたが、それを乗り越えてやっていますという感じですね。

【小川】どんな判決が出たとしても、それはまた次につながるものというの、ずっと思っていますし、これは変わらないですね。

【大江】最高裁まで闘う予定があつて、最高裁で決着をつけることによつて、国会での立法化を目指しています。

※2022年11月30日、東京地裁は、同性婚が認められていない現状は憲法に違反しないとしつつも、同性パートナーと家族になる法律がないことは違憲状態であると判決を言い渡しました。

(社会教育学習会)

コロナ禍の公民館と私たち ～みんなで話そうこれからの公民館～

新型コロナウイルスが急拡大した2020年は、初の緊急事態宣言により公民館を始めとする社会教育施設の多くが休館となりました。国立市公民館も休館となり、開館後も講座中止や利用制限が続くなど、市民の生活や日常に根差した公民館活動が脅かされることになりました。

これら休館等の対応は、市民の学習権保障の観点からは適切だったのでしょうか。市民等により構成される公民館運営審議会(公運審)は、当時の課題などを検証し、未来に向けた提言を検討した答申「新型コロナウイルス感染拡大時における教育機関としての公民館事業について」をまとめました(概要は1月号参照)。

今回は、この概要の報告会と、市民みんなで自由に語る意見交換会を開催します。ぜひお気軽にご参加ください。
*この学習会は公民館運営審議会との共同企画です。
*答申本文等は公民館HPからダウンロードできます(希望者には冊子を残部の範囲で無償頒布します)。

報告 末光 翔(第33期公運審委員長)
木島 香織(第34期公運審委員長)
隈井 裕之(第34期公運審副委員長)

コーディネーター 江頭 晃子
(第33期公運審副委員長、和光大学等講師)

とき 3月18日(土) 昼2時～4時30分
ところ 公民館 地下ホール
定員 40名(申込先着順)
申込先 3月7日(火)朝9時～16日(木)夕5時までの間に電話か右のQRコードよりお申し込みください。
公民館 ☎(572) 5 1 4 1



公民館の Q & A

このコーナーでは公民館について一問一答形式で紹介していきます。
今回は公民館の「市民交流ロビーの利用」についてです。

Q 公民館の1階市民交流ロビーは、誰でも使えるのでしょうか？

A 公民館では、1980年の改築以来1階部分は団体に所属しない個人でも誰もが気軽に公民館を利用していただけるように、開放的な空間活用の一環として開館時間中は市民交流ロビーを開放しています。原則、展示やイベント開催等の予定がない時は、個人で読書や休憩をしたり、少人数で打合せをしたり、飲食等をしていただくなど自由にお過ごしいただけます(ごみなどは各自でお持ち帰りください)。ロビーの一角にある喫茶「わいがや」の開店時は、コーヒーや軽食等の飲食もお楽しみいただけます。

公民館では、市民交流ロビーの名称の通り、ロビーを市民同士の出会いや交流の場として、またロビーや公民館図書室の個人利用から公民館の主催講座や市民のサークル活動への参加につながっていったりすることを願い、フリースペースとして運用しています。

Q 昨年の夏ごろから、市民交流ロビーに自習スペースが登場しました。いつ使えますか？

A 公民館では、昨年9月より展示等がない期間に、中高生を対象とした自習スペース「SPACE ☆くにスタ」を、市民交流ロビーにおいて実施しています。これは、以前より中高生や学生などから、「国立市内には自習するスペースが少なく、特に国立駅近くにそう

した場所があるとありがたい」といった声があったことを受けて試行しているものです。

ただし、「自習スペースとして開放」と言っても、中高生や学生のみが利用できる空間としているわけではありません。普段通り市民誰もが交流スペースとして利用できる状態は保ったまま、机や椅子を増やし、自習することも可能、という設備の配置をしています。

これまで主に「大人の学習拠点」というイメージが持たれてきた公民館ですが、今後は未来の公民館利用者になる中高生などの若年者にも、ぜひ公民館を利用していただきたい、というメッセージを込めて自習スペース開放を実施しています。まだ自習スペースとして浸透しているとはいえませんが、中高生や学生の利用も少しずつ増えています。また、公民館では平成24年度より中高生を対象とした学習支援事業「LABO ☆くにスタ」を実施し、多くの子どもたちの学習の場となり、居場所となってきました。



今後も、多彩な公民館活動や学びへの「入口」として、市民交流ロビーや公民館図書室など、子どもを含めた多くの市民にご利用いただきたいと思います。

〈多文化共生事業〉

台湾生まれ 日本語育ち

講師 おん ゆうじゅう 温 又柔 (作家)

温さんは3歳のときに台湾から東京へ移住し、台湾語混じりの中国語を話すご両親のもとで育ちました。成長するにつれ、自分の話す言葉や名前、それに対する周りの反応など心の中で様々な思いが巡りました。台湾から日本、日本と中国、中国にとっての台湾……三つの国々での自分の位置がわからなくなってしまったこともありました。

今は、日本語と中国語と台湾語三つともそれぞれ別の意味合いにおいて母語なのだと思うことができるようになり、色々な声が混じり合う、自分にとってもっとも自然で親しみのあるニホンゴによる物語を紡ぐ作家となりました。

今回は、温さんがこれまでの人生で感じてきたこと、今思うことについてお話いただきます。

〈温さんの本〉

表題作(白水社)、『真ん中の子どもたち』(集英社)、『魯肉飯のさえずり』、『私のものではない国で』(中央公論新社)、木村友祐との共著『私とあなたのあいだ』(明石書店)、『祝宴』(新潮社)、『李良枝セレクション』編・解説(白水社)ほか

とき 4月8日(土) 朝10時~12時
ところ 公民館 地下ホール
定員 60名(申込先着順)
申込先 3月9日(木) 朝9時~
公民館 ☎ (572) 5141



監督 フレッド・ジンネマン

出演 ゲーリー・クーパー、グレース・ケリー ほか

任期を終えて町を出ようとしていた保安官の元に、彼に復讐するために4人の無法者が町へやって来るという知らせが入る。保安官は町の人たちに加勢を求めるが、怖がって誰も助けてくれない……西部劇の約束事を覆すストーリー、シャープな映像、決闘に至るまでの約1時間半をほぼリアルタイムで描く等、社会派の巨匠F・ジンネマンのリアリズムに徹した演出が冴えわたる傑作。保安官を演じたG・クーパーはアカデミー主演男優賞を受賞。



とき 3月26日(日) 昼2時~(開場昼1時)
ところ 公民館 ホール
定員 60名(申込先着順)
申込先 3月10日(金) 朝9時~
公民館 ☎ (572) 5141

*事前申し込み制となっています。必ず電話もしくは窓口にて事前にお申し込みください。
*新型コロナウイルス感染予防のため、途中で10分程度、換気のため休憩を設けます。ご了承ください。

〈男性の料理入門・春休み特別企画〉

親子でピザを作ろう!

講師 北川 みどり (管理栄養士)

春休みのお昼ごはんを、お父さんと一緒に作ってみよう!

ピザの生地を作り、いろいろな食材をのせて焼きましょう。普段はオープンやオープントースターで焼くことが多いのですが、今回はガスコンロについているグリルで焼いてみましょう。高温になるため短時間で手軽に仕上がります。このほかに、コーンスープ、フルーツも添えます。

皆さんどうぞご参加ください。

とき 3月25日(土) 朝10時~昼1時
ところ 福祉会館 3階料理講習室
申込先 3月6日(月)朝9時~3月16日(木)
夜9時までの間に、右QRコードよりお申し込みください。



定員 親子6組(お祖父さんでも可)(申込先着順)
費用 1組(子ども1人まで)1,400円
(子ども2人まで)1,500円
(子ども3人まで)1,600円

費用は3月17日(金)までに公民館へお支払いください(受付時間:月曜日以外の朝9時~夕5時)。当日払いはできません。食材購入後のキャンセルは実費をご負担していただきます。中止する場合は返金いたしません。

持ち物 エプロン、三角巾(タオル可)、筆記用具、ポリ袋(ゴミ持ち帰り用)、ふきん2枚(台ふき用、皿ふき用)



保育を希望するグループは お知らせください

公民館保育室は、公民館で学ぼうとする大人の学びを支え、その際、保育室で過ごす子どもにとってもより豊かな生活、成長の場となることを目指して運営しています。

公民館で活動している市民グループに継続的に参加する場合に限り、活動時間中に公民館の保育室で保育を行います。保育を希望するグループ、考えているグループは3月末までに公民館へご相談ください。

〈開室時間〉

火曜日～金曜日 午前10時～12時
午後2時～4時
土曜日 午前10時～12時



〈要件〉

国立市内在住の学齢前の子ども。毎週火曜日、毎週水曜日というように定期的に通えること。

*詳細は公民館へお問い合わせください。

公民館 ☎ (572) 5 1 4 1

公民館の緑化絵日記



▲マンリョウ

今年もマンリョウが赤い実をつけたり、ピオラの花がきれいに咲きました。



▲ピオラ

公民館にお越しの際は、季節の変化をお楽しみください。

公民館の緑化活動に参加しませんか

上記の作業は、緑化ボランティアの皆さんが行っています。

活動にご興味のある方、協力していただける方は公民館までご連絡ください。

活動内容：植木の剪定、草花の栽培・手入れ、敷地内の除草など

活動頻度：月2回程度（原則、毎月第2土曜日と第4水曜日の朝9時半～11時半）

〈図書室のつどい〉

コーヒーについてぼくと詩が語ること

お 話 小山 伸二 (書肆梓代表)

この本は、15世紀にイスラームの地で生まれたコーヒー飲用の文化から、21世紀現在のコーヒーの新潮流までを、著者が親しんできた古今東西の書物から読み解き、縦横無尽に語り尽くします。本文ではいくつかの詩が引用されたり、巻末に約50頁にわたる注釈と参考文献が付いたり、いつものコーヒーがちょっと味わい深くなる一冊です。

著者は、辻調理師専門学校や立教大学で食文化を講じる文化人でもあり、国立市公民館で活動する「詩の会」(本紙8頁参照)にも通う詩人でもあり……。

小山さんは、「現代において、コーヒーを通して世界を考えることの重要性は増していることだろう。地域に住むぼくたちの、持続可能な世界を実現するために、コーヒーから見えてくる世界という視点はぜひとも必要だ」と述べています。ぜひ本書と小山さんのお話を通じて、いつもと異なる視点からコーヒーとその背景にある重層的な「世界」を眺めてみませんか。

〈小山さんの本〉表題作、詩集『さかまく髪のライオンになって』(書肆梓)、『きみの砦から世界は』(思潮社)ほか。

と き 3月31日(金)夜7時～9時

ところ 公民館 地下ホール 定員 60名(申込先着順)

申込先 3月7日(火)朝9時～ 公民館 ☎ (572) 5 1 4 1

〈図書室のつどい〉

育ちすぎたタケノコでメンマを作ってみた。 ～実はよく知らない植物を育てる・採る・食べる～

お 話 玉置 標本 (ライター)

ゴマってどんな姿で実るのだろうか。コンニャクを植えるところから手作りしてみたい。育ちすぎたタケノコをメンマにできないか……。

自然の中や家庭菜園からの食物調達をライフワークとする玉置さん。今回は普段何気なく口にしている、でも実はよく知らない食材について、好奇心のままに育て・採り・食べることで得た、試行錯誤の記録をお話いただきます。

予想外の連続に悪戦苦闘するなかで、次第に明らかになる食材の魅力。ネットで瞬時に情報が手に入る時代ですが、自分で時間をかけて体験したからこそ得られる、オリジナルな結果がそこにはあります。

〈玉置さんの本〉

『育ちすぎたタケノコでメンマを作ってみた。実はよく知らない植物を育てる・採る・食べる』(家の光協会)、『捕まえて、食べる』(新潮社)ほか

と き 4月2日(日)昼2時～4時


ところ 公民館 地下ホール

定 員 60名(申込先着順)

申込先 3月8日(水)朝9時～
公民館 ☎ (572) 5 1 4 1



ー5月分(ロビー6月分) 会場調整会のお知らせー

申込書のポスト投入期間	3月4日(土)～23日(木)
公用使用の貼り出し	3月10日(金)頃
予約の重なりのあるあった団体の掲示開始日(国立市HPにも掲載)	3月25日(土) ▶重なり状況 
会場調整会	4月1日(土)朝10時～

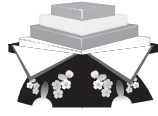
- ・予約の重なりのある、なしに関わらず、電話による連絡はいたしません。(ご不明な点は、公民館へお問い合わせください。)
- ・会場調整会へは、予約の重なりのあるあった団体が手洗い・マスク着用等の感染症対策のうえ、第1希望の会場がとれなかった場合の別の候補日も想定して、活動日を決定できる方1名がご参加ください。
公民館 ☎ (572) 5141

会場調整会は朝10時までに受付を済ませてください。



ひろば

(8ページにもあります)



お口筋肉を動かして健康に

『サクセスフルエイジングな滑舌サロン』へ一緒に。お口は健康の入口。全身の筋肉に繋がります。まずは楽しく、滑舌体操・朗読・早口言葉等と豊富。無料です。
日時 第1・3(土)朝10時半～12時
場所 公民館 各月連絡します。
連絡先 滝080(543)6622

一緒にギターを弾きませんか

くにたちギタークラブかなでクラシックギターでいろいろなジャンルの曲を弾いて楽しんでいきます。会費無料。初級者レベルのグループもあります。
日時 毎週日曜日 昼1時～5時
場所 東福社会館等
連絡先 石井090(850)6705

マインドフルネスを楽しむ会

アメリカの大企業でも取り入れられている瞑想法。アスリートや受験生の集中力アップ、自律神経の安定等効果があります。お気軽にお越しください。参加費無料。
日時 3月12日(日)朝10時半～12時
場所 公民館 講座室
連絡先 酒井080(588)3095

ソフトボール 国立カンガルー

ウインドミルの本格ソフトボールチームです。経験者も初心者も大歓迎。男女も問いません。練習も大会も真剣に楽しみましょう。年会費一万二千元(分割OK)
日時 毎週日曜日 昼1時～
場所 国立第4小学校 校庭
連絡先 高梨070(320)0080

数学を楽しむ集い(3月期)

マッチングするジョブの存在を確認する方法などを紹介します。数学の面白さがお分かりいただけます。どなたでも気軽にお越しください。参加の方は、お電話を。
日時 3月11日(土)25日(土)昼1時～
場所 公民館 集会室 講座室
連絡先 山本(572)1028

〈職員不定期コラム「公民館の窓」から支える市民の存在

私は昨年4月に公民館に戻り、もうじき1年が経過します。この間携わった公民館の仕事で印象深いのは、2022年10月にまとまった第33期公民館運営審議会(公運審)の答申づくりでした。今回の答申は、コロナ禍の2020年、公民館全面休館や講座中止などを迫られた時期の対応について検証し、未来に向けた提言をまとめたものです。分量は140頁を超え、とても分厚い答申になりました(概要は1月号参照)。特筆したいのはその作成プロセスでした。委員15名の多くは市民

団体選出の方々ですが、市民・職員アンケート、館長等へのヒアリングを実施、関連学習会も企画し、最後の答申文章の作成まで、そのほとんどを委員自身がやりきりました。職員もそこに伴走させていただきながら、たくさん学び、考えさせられました。公民館は、「無料で市民団体に会場提供している公共施設」、「幅広い生涯学習講座を開催している行政機関」というイメージがあると思います。でもその裏側では、公運審委員が「市民の学ぶ権利の実現」に向けて、毎月議論を重ねています。公運審をはじめ、公民館を裏側から支える市民の存在をぜひ知っていただけたら、公民館の奥深さをさらに感じてもらえるのではと思っています。(K・I)

公民館運営審議会報告

2月14日(火)第34期第4回定例会を開催。委員13名、館長、職員2名出席。傍聴人6名。

報告事項

○公民館だより編集研究委員、社会教育委員の会、社会教育学習会の報告、2月4日開催の東京都公民館連絡協議会第59回研究大会参加者の感想を共有。

○社会教育学習会は3月18日(土)午後2時から4時30分。対面式にて開催。テーマは「コロナ禍の公民館と私たち」みんなで話そう。これからの公民館」。

協議事項

○定例会議事録の市HPへの公表
HP用の公運審報告は公民館だ

より本欄「報告」の内容よりも詳細な要旨を別途作成・公開する方向で調整。

委員研修

○3月に「国立市公民館の歩みと特色について」委員研修を行う。
○次回3月14日(火)夜7時15分から地下ホール。感染予防の上、傍聴歓迎。(大久保)

今月の公民館 (3月～4月上旬)

- 3月2日(休) 憲法講座
「いま改めて『憲法の力』をさぐる」
- 3日(金) 健康・メンタルヘルス講座
「自分と家族のうつを防ぐメンタルケア」
- 12日(日) 親子で遊ぼう・考えよう
「部屋一面の大きな紙でお絵描き」
- 12日(日) ★環境講座「世界を変える昆虫食」
- 18日(土) 社会教育学習会
「コロナ禍の公民館と私たち」
- 25日(土) 男性の料理入門「親子でピザを作ろう！」
- 26日(日) シネボックス CINEBOX 『真昼の決闘』
- 31日(金) 図書室のつどい
「コーヒーについてぼくと詩が語ること」
- 4月2日(日) 図書室のつどい
「育ちすぎたタケノコでメンマを作ってみた。」

8日(土) 多文化共生事業『台湾生まれ 日本語育ち』
★はオンライン受講可能な講座です。

講座の開催状況などに変更があった場合は、公民館入口付近への掲示や、ホームページでお知らせします。ご不明の点はお問合せください。
公民館 ☎ (572) 5141



公民館の状況▲

ひろば

(7ページにもあります)



メジロ

撮影 和賀 一

(フォトサークルくにたち)

くにたち国際友好会 WING

3月の国際理解講座は、カナダ在住35年の山之内悦子さんに、ZOOMでカナダの少数者問題などのお話をして頂きます。会場でも視聴可能。要事前登録。

日時 3月19日(日) 昼1時～3時
場所 公民館 講座室&ZOOM
連絡先 西江070(902) 7838

くにたち写真遊会 写真展

当会は近隣の写真愛好家が集まったサークルです。講師の指導のもと撮った写真約40点を展示します。25回目の展示会となる歴史あるクラブで、新会員も募集中。
日時 3月28日(火)～4月2日(日)
場所 公民館 市民交流ロビー
連絡先 榎戸090(772) 5124

〈サークル訪問377〉 詩の会

2002年に公民館で「詩のワークショップ」の講座が開かれ、1期の受講生を中心にこの会が発足した。

取材した12月は「福岡塾アンソロジー2022」(会員の自由参加の詩誌)の合評会だった。詩人で映画監督でもある福岡健二さんを中心に、16人が参加。自作の詩を朗読してから、参加者が思い思いに感想や質問を投げかける。

この日は元公民館職員で詩の講座を担当した和田まさ子さんが司会を行い、一人ひとりの最後に福岡さんが「しっかりと語り口だね」などと講評を加える。「アンソロジー」の最後には福岡さんの詩も掲載されているが、発表が進むと「ここまで来ると自分の詩が心配になってくる」と笑いを誘った。

1月から10月は通常会で、11月は「アンソロジー」の制作もする。通常会は与えられた課題に沿って担当者が自分の好みの詩を披露し、皆で感想を述べたり、どう読み解くかを議論する。その後は各自が自作を発表してコメントを募る。22年は「歩道橋」「折る」「死者」などが課題だった。「詩の創作は1人でやることで、仲間と集った

り発表しあったりという機会はそう多くないので貴重です」と参加者。中には詩集を出す人、詩歌文学館賞やエルスール財団新人賞を取った人もいる。

「この表現は演劇的な感じがしますね」「薪をくべる」とは言うけど、「火をくべる」でもいいのかな」「この果物はモモじゃなくてスイカでもいいんだけど、スイカだと重たいし」と作者が言えば、周囲から「いやいや、モモじゃなきゃダメでしょ」。

薄っぺらい言葉がSNSなどで多く見られる中、言葉について熱く語り合う雰囲気豊かさを感じた。会員募集中。

日時 第4土曜昼3時～6時半
(8月は休会)

場所 公民館など
連絡先 小松090(262) 2126
undunpur.purime@outlook.jp

〈文・写真 西尾 万樹〉



それぞれの個性的な詩に聴き入る